



①町田産の農産物の地産地消を推進するために

松岡みゆきの質問

- ①町田市は農家数849戸、農業就業人口671人、平均年齢66.5歳、耕地面積253ha、農業産出額が19.1億円で年々減少傾向。町田産農産物をどこで買えばよいか分からないとの市民の声がある。そこで地産地消を推進する為の施策は？
- ②野菜を作られても販売まではいかない自家消費農家へも支援をすべきだが？



経済観光部長の答弁

- ①町田産農産物のシンボルマークを「まち☆ベジ」とネーミングし、PRに使用。「市役所まち☆ベジ市」や教育センターでの「日曜朝市」の開催を支援。直売所の情報掲載の「まち☆ベジマップ」や飲食店の「まち☆ベジグルメ店なび」を発行し、さらに、これらの地図情報とスマホとのリンクを検討している。
- ②機械購入等の補助金、ホームページ立ち上げ、アドバイザーの派遣等の支援をしていきます。



②職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けた時差勤務について

松岡みゆきの質問

- ①市職員のワーク・ライフ・バランスの実現の為に、都内初で理由を問わず選択可能な勤務時間帯が4つ追加され、時差勤務が導入されたが、目的は？
- ②7月から11月までの勤務時間帯別の月平均利用者数は？
- ③利用者にとって、時差勤務は通勤混雑を避ける為にも良いことだと思う。利用者にはどんな意見があるか？



高橋副市長の答弁

- ①職員が働きやすい職場環境を構築することにより、市民サービスの向上につなげる為に導入した。
- ②勤務開始時間について、これまでの8時20分に加え、7時30分、8時、9時、9時30分の4つの時間帯を追加し、それぞれ31人、41人、40人、8人で、合計で月120人の利用者があった。
- ③利用者からは、「子供を保育園に送ってから仕事ができる」、「時間管理力がつく」等の意見があった。



③忠生市民センターの音楽室と舞台の反響板について

松岡みゆきの質問

- ①市内6ヶ所の市民センターのうち、築21年のなるせ駅前市民センターと築3年の忠生市民センター以外の4ヶ所には音楽室と反響板がある。なぜ新しく建てられたばかりの忠生市民センターにそれらが無いのか？
- ②忠生市民センターには音楽室が無い。その為に市民はわざわざ別の場所を借りている。音楽室と舞台に反響板を設置できないか？



市民部長の答弁

- ①公募で選ばれた地域住民の「忠生市民センターづくり会議」を設けて、意見を頂いた。また一般利用者にもアンケートを実施し、基本計画を策定し、それを元に音楽室の専用部屋ではなく、多目的室等を5部屋用意した設計となった
- ②現状では、多目的室に防音装置が無い為、アップライトピアノを置けない。今回の指摘で応急処置的に電子ピアノを導入することにした。反響板については、現段階では設置は難しい。



市政でお困りの事がございましたら、お気軽にお声掛け下さい！

議会の傍聴においで下さい → 市役所3階・議会事務局で受付 ※市役所横に駐車場あり

★議会は年4回(3、6、9、12月)。詳細は松岡みゆきブログで約1週間前に通知。

動画右下の矢印クリックで画面拡大

★インターネットで生中継をご覧になれます。町田市議会 公式サイト で検索 → 議会中継へ ※過去の議会は続いて画面左の会議録検索「一般質問」→ 議員名指定「松岡みゆき」で検索 → 録画放映 で視聴可